

# 令和4年経済構造実態調査（製造業事業所調査）

令和5年12月 日  
統計調査課産業統計担当

## I 経済構造実態調査（製造業事業所調査）について

経済構造実態調査は、全ての産業の付加価値等の構造を明らかにし、国民経済計算の精度向上等に資するとともに、5年ごとに実施する「経済センサス-活動調査」の中間年の実態を把握することを目的として、総務省及び経済産業省が毎年実施する調査である（経済センサス-活動調査の実施年を除く。）。

このうち、経済構造実態調査（製造業事業所調査）（以下「製造業事業所調査」という。）は、一定規模以上の製造業の法人事業所について調査を行ったものである。

## II 集計数値について

事業所数及び従業者数については令和4年6月1日現在、製造品出荷額等及び付加価値額については、令和3年の1年間の数値である。

## III 調査結果の概要（従業者4人以上の事業所）

	令和4年調査	令和3年調査	前年比
事業所数	1,283事業所	1,300事業所	1.3% 減
従業者数	54,097人	53,580人	1.0% 増
製造品出荷額等	17,131億円	16,368億円	4.7% 増
付加価値額	6,227億円	6,092億円	2.2% 増

注1：令和4年は経済構造実態調査（製造業事業所調査）、令和3年は経済センサス-活動調査の数値である。

注2：製造品出荷額等及び付加価値額は調査年の前年1年間の数値である。

注3：付加価値額について、従業者4～29人の事業所は粗付加価値額である。

### 1 全体の動向

事業所数は6年連続の減少、従業者数は2年ぶりに増加した。  
製造品出荷額等及び付加価値額は2年連続で増加した。

〔図1〕 項目別の推移

